

2024年7月30日

各位

会社名 株式会社 fonfun
代表者名 代表取締役社長 水口 翼
(コード：2323、スタンダード市場)
問合せ先 取締役 兼 コーポレートソリューショングループ長 八田 修三
(tel:03-5365-1511 <https://www.fonfun.co.jp/contact/>)

グルーコードコミュニケーションズ株式会社の 株式の取得（完全子会社化）及び資金の借入に関するお知らせ

当社は、2024年7月30日開催の取締役会において、以下のとおり、企業向けDX・AI推進事業を行うグルーコードコミュニケーションズ株式会社(以下「グルーコード社」といいます)の発行済み株式の全てを取得しグルーコード社を完全子会社とすること、並びに資金の借入を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 取得の目的

当社は、「テクノロジーで社会をもっとスマートに。」というミッションを掲げ、持続的な企業価値の最大化を経営方針としております。また、2023年9月25日に公表した新中期経営計画「プロジェクトフェニックス」を中期経営ビジョンとし、売上高20億円、EBITDA 4億円、エンジニア100人体制を2026年3月末までに達成するために、成長戦略の重要な柱としてM&A戦略を掲げております。

グルーコード社は、幅広いクライアントにエンジニア派遣を行い、ハイスキルエンジニアリングリソースを通じて顧客のDX・AI支援を行っている企業であります。DXコンサルティングの上流工程から、実務工程のラボ型開発、SES、技術者派遣に至るまで、ワンストップでソリューション提供し、顧客課題の解決において高い付加価値を提供しています。これにより、高い技術力を持つ人材を高単価で提供できるマーケットポジションを確立し、上流工程からプロジェクトに参画する機会も多いことから、一次商流を中心に事業運営を行っています。

同社を完全子会社とすることにより、当社は上級エンジニアスキルを有する技術者約40名の組織を獲得し、新中期経営計画の注力領域の一つであるDX・ソフトウェア開発分野の強化を図ります。また、グルーコード社が構築しているエンジニア育成の仕組み、エンジニア職種に最適化された採用プロモーションは、エンジニア100人体制の目標の実現に大きく貢献すると考えております。受託開発を補完するSES事業の拡大やエンジニア採用・育成の要となるグルーコード社の取得は、当社の既存事業だけでなく、今後のM&A候補企業の事業取得においても、高いシナジー効果をもたらし、当社の非連続な成長に不可欠な要素であります。経験豊富な経営メンバーを当社グループに迎え入れることで、経営のケイパビリティを総合的に強化することができ、グルーコード社の代表取締役である嵐氏(経歴は後述)は13回に及ぶM&A経験を有し、M&A仲介業としての数十件の経験を併せ持つため、当社に参画後、事業当事者としてデューデリジェンスを自ら執り行い、加えてPMI(*)にもそれらの知見を活用することができます。業績面においても早期かつ安定的に好

影響をもたらすことが期待できると判断し、交渉の末、グルーコード社の発行済みの全ての株式を取得することにいたしました。

(*) PMI (Post Merger Integration) とは、企業が合併・買収(M&A)を実施した後の統合プロセスを指します。買収後の企業が効果的に統合され、シナジー効果を最大化するために非常に重要で、M&Aの成果を最大限に引き出し、企業価値を向上させるために欠かせない要素です。

(*) 嵐氏の経歴は以下の通りです。

- 1971 北海道札幌市出身
- 1995 青山学院大学 中退
- 1995 株式会社リクルートスタッフィング
- 1999 インディゴ株式会社
- 2000 株式会社ワイズノット 設立 代表取締役
- 2008 ファーストサーバ株式会社
- 2010 価値創発基盤株式会社 設立 代表取締役、2013年売却
- 2010 株式会社アクワイア 取締役CFO
- 2011 グルーコードテクノロジーズ株式会社 設立 代表取締役 (現任)
- 2013 グルーコード株式会社 設立 代表取締役 (現任)
- 2014 monocla株式会社 設立 取締役CEO
- 2014 株式会社ガジェットガレージ 設立 取締役、2015年売却
- 2017 グルーコードコミュニケーションズ株式会社 代表取締役 (現任)
- 2018 楽らクラウド株式会社 設立 代表取締役、同年売却
- 2020 WorkPod株式会社 設立 代表取締役、2023年吸収合併

2. 株式の取得について

(1) グルーコード社の概要

(1)	名 称	グルーコードコミュニケーションズ株式会社		
(2)	所 在 地	北海道札幌市中央区南1西5-7愛生館ビル7F (東京本社)東京都渋谷区渋谷三丁目10番19号渋谷MJ-IIビル6階		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 嵐 保憲		
(4)	事 業 内 容	企業向けDX・AI推進事業		
(5)	資 本 金	25,000,000円		
(6)	設 立 年 月 日	2017年2月7日		
(7)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財務状況(百万円)			
	決 算 期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
	純 資 産	-	-	50百万円
	現 金 及 び 預 金	-	-	2百万円
	総 資 産	-	-	104百万円
	売 上 高	307百万円	340百万円	396百万円
	営 業 利 益	64百万円	84百万円	7百万円
	経 常 利 益	-	-	9百万円
	当 期 純 利 益	-	-	9百万円
	調整後EBITDA (参 考 値)	-	-	70百万円
(8)	株 式 比 率	嵐 保憲 (53.16%)、Mandarin Orange合同会社(37.42%)、 佐野 敦彦(9.42%)		
(9)	上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
		人 的 関 係	該当事項はありません。	
		取 引 関 係	該当事項はありません。	
		関 連 当 事 者 の 該 当 状 況	該当事項はありません。	

※(7)に記載の経営成績及び財務状況に記載の数字は、監査法人による監査を受けたものではありません。

※2021年12月期および2022年12月期の経営成績及び財務状況については、グルーコード社においてもともと5法人であった企業グループを集約する会社の組織再編のプロセスを経ており、連結貸借対照表を作成しておらず、記載が困難なため、対象事業の売上高及び営業利益について記載しております。対象事業の売上高および営業利益の算出においては、5法人の企業グループ各社の売上高、売上原価を集計し、当該グループ間取引にかかる売上・費用は控除して算出しております。

※調整後EBITDAは、グルーコード社に対する2023年12月期を対象としたデューデリジェンス等の調査の結果を踏まえ、子会社化後に発生しないことが見込まれる解約予定の地代家賃等の取引や支払い手数料等の費用等、約60百万円を調整後の参考値です。(税引き前当期純利益に減価償却費、のれん償却費、及び当社買収後不要な費用調整)

(2)株式取得の相手先の概要

(1)	氏名	嵐 保憲
(2)	住所	東京都渋谷区
(3)	上場会社と当該個人の関係	当社と当該個人及びその近親者との間には、特筆すべき資本関係・人的関係・取引はありません

(1)	氏名	Mandarin Orange合同会社
(2)	住所	東京都渋谷区渋谷三丁目10番19号渋谷MJ-IIビル6階
(3)	上場会社と当該個人の関係	当社と当該個人及びその近親者との間には、特筆すべき資本関係・人的関係・取引はありません

(1)	氏名	佐野 敦彦
(2)	住所	東京都港区
(3)	上場会社と当該個人の関係	当社と当該個人及びその近親者との間には、特筆すべき資本関係・人的関係・取引はありません

(3)譲受価額及び決済方法

(1)	異動前の出資比率	0%	
(2)	取得する出資株式	100%	
(3)	異動後の出資比率	100%	
(4)	取得価額	対象会社の株式	600百万円
		デューデリジェンス費用等	1百万円
		合計	601百万円
(5)	移動後の所有社員株式数	議決権所有割合： 100%	
(6)	決済方法	現金による決済	

グルーコード社の財務諸表のうち、直近2023年12月期における売上高は396百万円、営業利益は7百万円であり、前期以前については、組織再編の影響を鑑みて記載を省略しておりますが、デューデリジェンスの調査結果において、同等水準の売上、利益ともに推移していることを確認しております。当社が譲り受けたのち、運営統合の削減効果等により、想定しているのれんの償却を考慮しても利益が十分に確保でき、3～4年で投資回収ができる見通しです。譲受価額を決定するにあたり、第三者機関である株式会社Stewart McLaren（東京都港区白金台5-9-5 代表取締役 小幡 治）に株式価値算定を依頼したところ、DCF法により419～616百万円と算定されており、適正な譲受価格と判断しております。なお、株式会社Stewart McLarenは当社及びグルーコード社との間で重要な利害関係はございません。

(4)資金調達の方法

金融機関からの借入及び自己資金をもって支払いを行う予定です。

(1)	借入先	株式会社徳島大正銀行
(2)	借入金額	400百万円
(3)	借入日	2024年8月1日
(4)	返済期日	2031年7月31日
(5)	借入金利率	0.8% + 基準金利 (融資手数料別途)
(6)	返済方法	分割返済

3. 日程

(1)	取締役会決議日	2024年7月30日
(2)	最終取引契約締結日	2024年7月30日
(3)	取得期日	2024年8月1日(予定)

4. 会計処理の概要

当該取引は企業結合会計基準上の「取得」に該当し、566百万円が正ののれん及び顧客関連資産として発生する見込みです。

5. 今後の見通し

2024年5月15日に公表した業績予想には、本件の影響は織り込まれておりません。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。また、事業責任の管轄はDXソリューショングループにて受け入れ、事業の拡大を図ります。事業の円滑な遂行と既存事業とのスムーズな統合を目的に当社はグルーコード社を第2四半期の適切な時期に吸収合併することを計画しています。

(参考)当期業績予想(2024年5月15日公表分)及び前期連結実績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想 (2025年3月期)	831百万円	80百万円	80百万円	80百万円
前期実績 (2024年3月期)	699百万円	74百万円	92百万円	68百万円

以上